

NOZAKI Yasushi

野崎 泰志 ノザキ ヤスシ

教授

修士(国際学：神戸大学)

放送大学教養学部卒業(1995), 神戸大学大学院国際協力研究科博士前期課程修了(1998), 神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程中退(2007), 第一医科(株)(1975~1980), (社)中国研究所(1981~1985), (社福)東京ヘレン・ケラー協会海外盲人援護事業事務局(1985~1990), アジア眼科医療協力会及び24時間テレビネパール代表(1990~1994), ヒマラヤ保全協会ネパール代表(1994~1995), 日本福祉大学赴任(2000).

【研究分野】

地域研究, 社会学, 社会福祉学.

【キーワード】

CBR, 持続的開発, 地域開発評価, 開発組織評価, 国際保健, 南アジア地域研究.

【担当授業科目】

学 部：専門演習, 地域福祉論, 障害者福祉論, 基礎演習, 相談援助演習①, 相談援助演習②, 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ, 相談援助実習指導Ⅰ.

【主な研究テーマ】

1. 地域保健プログラムにおける住民組織とその参加

地域保健プログラムにおける住民組織とその参加. 保健行政と自主管理型住民参加の持続的提携の条件.

2. 開発組織の組織評価

開発組織の組織評価. 行政から国際NGO, 住民の自助組織まで, 開発にかかわる諸組織の機能分析を通して, それらの持続的関係性を考える.

3. 障害者福祉の方法としてのCBRの有効性

障害者福祉の方法としてのCBRの有効性. CBRが有効に機能する社会背景と, 適切な運営管理.

【主な研究業績】

<著書>

- 『新版 障害者福祉』 総頁154p, 共著, 「第5章 障害者福祉の国際的動向」pp. 65-80, 学文社, 2008. 01.
- 『世界の社会福祉年鑑 2005』 総頁493p, 共著, 「ネパール王国」pp. 339-354, 旬報社, 2005. 12.
- 『社会福祉辞典』, 共著, (400項目の内10項目), 大月書店, 2002. 11.
- 『開発学概論』 総頁283p, 共著, 「第14講 保健・教育・福祉」pp. 125-133, 日本福祉大学通信教育部, 2001. 03.
- 『ネパールを知るための60章』 総頁265p, 共編著, 「ネパールのNGO/日本のNGO-開発マネージメントの視点から」 「ネパールのCBRと社会開発-地域から支える障害者福祉」 「ジェンダーから見たネパールの地域保健-保健・医療制度と開発協力の今後」 pp. 79-82, pp. 128-137, 明石書店, 2000. 09.

<論文>

- 「国際福祉と伝統組織-ネパールの伝統組織と異文化間ソーシャルワーカー」, 『日本福祉大学研究紀要 現代と文化』第112号, 単著, 日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2005. 08, pp. 21-30.
- 「開発NGOsの組織評価試論-ODAとNGOsの連携強化へ向けて-」, 『日本福祉大学経済論集』第23号, 単著, 日本福祉大学経済学会・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2001. 06, pp. 107-139.

<学会発表>

- 障害者権利条約とCBRのプログラム評価, 国際開発学会第20回全国大会, 2009. 11.

- 村民の意思決定とCommunity Capability-「ザンビア孤立地域参加型村落開発計画」における住民参加の定量的評価の試み, 日本評価学会春季第6回全国大会, 2009. 06.
- Evaluation of CBR for Sustainability, Case study of the Pathapatnam CBR (AP, India), the Bara CBR (Bara, Nepal), and the Bhaktapur CBR (Bhaktapur, Nepal). The Fourth South Asia Regional Conference in Community Based Rehabilitation, Kathmandu, Nepal (October 4-6, 2007).
- 国際福祉と伝統組織-ネパールの伝統組織グティと異文化間ソーシャルワーカー, 国際開発学会 東海支部研究会, 2006. 04.
- NGOと外務省における『日本NGO支援無償資金協力』スキームの合同評価, 国際開発学会第16回全国大会, 2005. 11.
- NP0と評価, 日本NP0学会第4回年次大会, 2002. 03.
- 社会開発プログラムにおける評価法の研究, 第9回国際開発学会, 1998.
- 保健医療プログラムにおけるInsitutional Sustainability 比較分析法-ネパールにおける眼科プロジェクトを事例として, 第13回日本国際保健医療学会, 1998.
- NGO・開発・平和-開発NGOにとって社会運動の主体性とは何か, 日本平和学会平和研究セミナー, 1998.
- Goal and Objective of CBR programme in Nepal. The Third South Asian Regional Conference on CBR Network., The Third South Asian Regional Conference on CBR Network., 2000. 10.

<その他>

- 『障害者福祉論学習指導書』, 2009. 04, 総頁142p.
- 「ネパールの動向-政治・経済・外交・社会」, 『アジアの動き』国際協力会, 2005. 03, pp. 65-79.
- 『「日本NGO支援無償資金協力」スキームの評価最終報告書』外務省経済協力局, 2005. 03.
- 『ウクライナ・チェルノブイリ原発被災者支援・被災者の居住する移住者村における医療機器等の整備事業評価報告書』(特活)チェルノブイリ救済中部, 2005. 03.
- 『CBRの手引き-バドマニ・メンディス博士講演記念集』日本CBRネットワーク, 2000. 08, pp. 31-33.
- <講演記録>『失敗から成熟へ-ネパールでのNGO活動9年を振り返って』ヒマラヤ保全協会刊, 1994.
- <講演記録>「ネパールの視覚障害者教育」『シンポジウムネパール』No. 15, (社)日本ネパール協会, 1989.

【所属学会】

国際開発学会(1997~), 日本国際保健医療学会(1998~), 日本NP0学会(1998~), 日本評価学会(2000~), 日本地域福祉学会(2004~), 日本社会福祉学会(2009~), 障害学会(2009~).

【社会における活動と仕事】

JICA ザンビア「孤立地域参加型村落開発プロジェクト」終了時評価, 参加型開発専門家(2008), アジア経済研究所業績評価専門委員(2010).